

## 売上収益

**3,450億円** 前期比 **11.5%増**

抗悪性腫瘍剤「オブジーボ点滴静注」は、非小細胞肺癌一次治療や食道がん二次治療での使用拡大、胃がん一次治療への参入を見込んでおり、112億円(11.3%)増の1,100億円を予想しています。また、主要新製品の売上拡大およびロイヤルティ収入の増加により、通期の売上収益は前期比357億円(11.5%)増の3,450億円を予想しています。

## 営業利益

**1,030億円** 前期比 **4.7%増**

製品商品の売上増加に伴い、売上原価は前期比94億円(11.0%)増の950億円と予想しています。研究開発費は積極的な投資を行うため、前期比96億円(15.4%)増の720億円、販売費及び一般管理費は前期比48億円(6.9%)増の740億円と予想しており、通期の営業利益は前期比47億円(4.7%)増の1,030億円を予想しています。

## 税引前当期利益

**1,050億円** 前期比 **4.1%増**

金融収支等は、前期比6億円(21.8%)減の20億円を見込んでおり、通期の税引前当期利益は前期比41億円(4.1%)増の1,050億円を予想しています。

## 親会社の所有者に帰属する当期利益

**815億円** 前期比 **8.1%増**

通期の親会社の所有者に帰属する当期利益は、前期比61億円(8.1%)増の815億円を予想しています。

注)新型コロナウイルス感染症により、引き続き一定の活動制限が継続されることを想定しておりますが、営業利益に与える影響は軽微であると見込んでおります。